

宮城学院創立 130 周年記念音楽会 が開催されました

5月18日（水）、東京エレクトロンホール宮城にて「宮城学院創立130周年記念音楽会」が開催されました。会場には、宮城学院在学学生・卒業生や一般のお客様など、約1500人が来場しました。音楽会では、本学音楽科の及川浩治特任教授（ピアノ）、船橋洋介准教授（指揮）、卒業生でソプラノ歌手のカオリ・サトウ・オストロフスキーさんの3人が、仙台フィルハーモニー管弦楽団と協演し、多くの見所がありました。

参加者からは「宮城学院の歴史の重さ、そしてこれから未来へ進んでいくチカラも、この音楽会から感じました」という声もありました。



オストロフスキー氏による独唱



及川特任教授による演奏



船橋准教授による指揮



会場に詰めかけた多くの観客



プログラム

- ①ベルリオーズ 序曲《ローマの謝肉祭》
 - ②ベルリオーズ《夏の夜》より
【ソプラノ】カオリ・サトウ・オストロフスキー
(ニューヨーク州立大学パーチェス音楽院准教授<本学音楽科卒業生>)
 - ③チャイコフスキー ピアノ協奏曲第1番変口短調 作品23
【ピアノ】及川浩治(本学音楽科特任教授)
- ①～③【指揮】船橋洋介(本学音楽科准教授)
【管弦楽】仙台フィルハーモニー管弦楽団

音楽会の様子は、5 / 19 (木) の河北新報朝刊、また同日の東北放送ニュースでも取り上げられました。